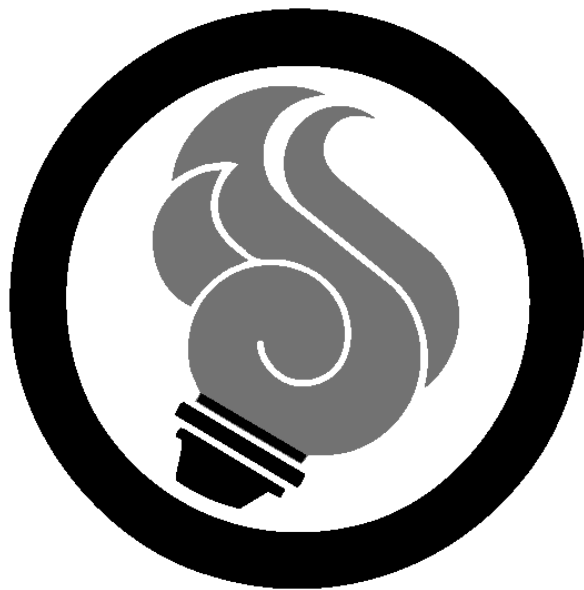


第80回国民スポーツ大会
青森県準備委員会

第5回広報・県民運動専門委員会



令和元年5月24日（金）
ウェディングプラザアラスカ
3階 エメラルド

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会
第5回広報・県民運動専門委員会資料

目 次

○ 次第	P 1
○ 委員名簿	P 2
○ 委員の変更	P 3
○ 説明・報告事項	
1 第80回国民スポーツ大会準備経過	P 4
2 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項	P 7
3 第80回国民スポーツ大会会場地市町村選定状況	P 8
4 第80回国民スポーツ大会愛称・スローガンの応募状況	P 9
5 平成30年度広報活動の取組及び令和元年度広報活動の取組予定	P 1 0
6 第80回国民スポーツ大会イメージソングの制作に関する意見等	P 1 3
○ 審議事項	
1 第80回国民スポーツ大会イメージソング歌詞募集要項（案）	P 1 4
2 第80回国民スポーツ大会イメージソング歌詞審査要領（案）	P 1 6
3 第80回国民スポーツ大会県民運動基本計画（案）	P 1 8
4 第80回国民スポーツ大会愛称・スローガン最終候補作品の選定	(別冊)
○ 参考資料	
第5回常任委員会決定事項（別添）	

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会 第5回広報・県民運動専門委員会

次 第

日時：令和元年5月24日（金）
10：30～11：30
場所：ウェディングプラザアラスカ
3階 エメラルド

1 開会

2 委員の変更について

3 説明・報告事項

- (1) 第80回国民スポーツ大会準備経過
- (2) 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項
- (3) 第80回国民スポーツ大会会場地市町村選定状況
- (4) 第80回国民スポーツ大会愛称・スローガンの応募状況
- (5) 平成30年度広報活動の取組及び令和元年度広報活動の取組予定
- (6) 第80回国民スポーツ大会イメージソングの制作に関する意見等

4 審議事項

- (1) 第80回国民スポーツ大会イメージソング歌詞募集要項（案）
- (2) 第80回国民スポーツ大会イメージソング歌詞審査要領（案）
- (3) 第80回国民スポーツ大会県民運動基本計画（案）
- (4) 第80回国民スポーツ大会愛称・スローガン最終候補作品の選定

5 その他

6 閉会

広報・県民運動専門委員会 出席者名簿

(順不同:敬称略)

区分	機関・団体名	役 職	委員氏名	出欠	代理出席者職・氏名
学識経験者	公立大学法人青森公立大学	教授	香取 真理 【委員長】	○	
報道	青森放送株式会社	報道部長	鳴海 勝彦 【副委員長】	○	
	株式会社青森テレビ	報道制作部長	長谷川 拓史	○	
	青森朝日放送株式会社	報道制作部長	帷子 聖修	×	
	日本放送協会青森放送局	放送部長	森谷 涉	○	
	株式会社東奥日報社	社会部次長	秋元 宏宣	○	
	株式会社陸奥新報社青森支社	編集部長	今井 珠世	○	
	株式会社デーリー東北新聞社青森支社	編集部長	西舘 康司	○	
	株式会社エフエム青森	放送部長	鈴木 耕治	○	
経済	青森県商工会議所連合会 (青森商工会議所)	地域振興部長	鈴木 匡	×	
	青森県商工会連合会	総務組織課長	井上 英治	○	
	青森県中小企業団体中央会	総務課長	船水 礼子	○	
観光	公益社団法人青森県観光連盟	事務局長	鈴木 耕司	○	
社会・福祉	社会福祉法人青森県社会福祉協議会	事務局長	工藤 昌彦	○	
	公益財団法人青森県老人クラブ連合会	事務局長	五戸 秀樹	×	
	青森県地域婦人団体連合会	事務局長	宮川 春子	○	
スポーツ	青森県総合型地域スポーツクラブ 連絡協議会	会長	鹿内 葵	×	
学校	青森県小学校長会	副会長	成田 明彦	○	
	青森県中学校長会	副会長	横山 誠之	×	
	青森県高等学校長協会	常任理事	岩川 亘宏	×	
	青森県特別支援学校校長会	副会長	奈良岡 守	○	
	青森県私立中学高等学校長協会	事務局長	嶋津 泰久	○	
市町村	青森市広報広聴課	課長	大久保 綾子	○	
	おいらせ町総務課	課長	泉山 裕一	×	
県	企画政策部広報広聴課	課長	白山 昭彦	○	
	環境生活部県民生活文化課	課長	澤田 靖	○	総括主幹 夏井 裕之
	観光国際戦略局観光企画課	課長	沖沢 進	○	

第80回国民体育大会青森県準備委員会 広報・県民運動専門委員会委員の変更

平成31年5月24日現在 (順不同：敬略称)

分野	機関・団体名及び役職名	新任者	旧任者	変更年月日
報道	株式会社青森テレビ 報道制作部長	長谷川 拓史	成田 克彦	平成31年4月1日
	株式会社デーリー東北新聞社 青森支社 編集部長	西舘 康司	長谷川 開丈	平成31年年4月1日
社会・福祉	青森県地域婦人団体連合会 事務局長	宮川 春子	鈴木 静子	平成31年年4月1日
学校関係	青森県小学校長会 副会長	成田 明彦	福井 巧二	令和元年5月10日
	青森県中学校長会 副会長	横山 誠之	川井 清広	平成31年年4月23日
	青森県高等学校長協会 常任理事	岩川 亘宏	長者久保 雅仁	平成31年年4月1日
	青森県特別支援学校校長会 副会長	奈良岡 守	成田 安男	平成31年年4月4日
市町村	青森市広報広聴課 課長	大久保 綾子	田中 聡子	平成31年年4月1日
県関係	環境生活部県民生活文化課 課長	澤田 靖	福井 弘信	平成31年年4月1日
	観光国際戦略局観光企画課 課長	沖沢 進	三上 洋輝	平成31年4月1日

第 8 0 回 国 民 ス ポ ー ツ 大 会 準 備 経 過

年 月 日	内 容
平成25年 6月24日	公益財団法人青森県体育協会（以下「県体育協会」とする。）が、平成37年に開催の第80回国民体育大会本大会の招致に関する要望書を県、県議会及び県教育委員会に提出
平成26年 6月28日 ～平成27年 7月23日	県教育委員会において、青森県国体検討懇話会を設置し、「青森県らしい国体のあり方」等について検討（全6回開催）
8月26日	青森県国体検討懇話会の検討結果報告書について、同懇話会座長が知事及び教育長に報告
9月10日	平成27年度第2回青森県総合教育会議において、第80回国民体育大会本大会の招致について知事と教育委員会が協議
9月18日	平成27年9月青森県議会第283回定例会冒頭の提出議案知事説明において、知事が平成37年に開催される第80回国民体育大会本大会の本県招致について表明
10月 9日	同上定例会において、県議会が「第80回国民体育大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
11月20日	知事、教育長、県体育協会会長が、文部科学省と公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出
平成28年 1月13日	公益財団法人日本体育協会理事会において、開催申請書提出順序の了解（開催内々定）
4月 1日	県教育庁スポーツ健康課内に国体準備室を設置（5名体制）
8月31日	第80回国民体育大会青森県準備委員会設立総会・第1回総会及び第1回常任委員会を開催
10月21日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回総務企画専門委員会を開催
10月25日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回競技運営専門委員会を開催
11月10日	第80回国民体育大会市町村担当者会議及び競技団体担当者会議を開催
平成29年 3月28日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回総務企画専門委員会を開催

年 月 日	内 容
4月 1日	国体準備室員を増員（7名体制）
4月19日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回常任委員会を開催
5月24日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回総会を開催
7月13日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回競技運営専門委員会を開催
7月20日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回広報・県民運動専門委員会を開催
8月30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回施設専門委員会を開催
10月23日	第80回国民体育大会第1回会場地市町村・競技団体担当者会議を開催
10月26日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回競技運営専門委員会を開催
11月 1日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催
12月12日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催
12月18日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回広報・県民運動専門委員会を開催
平成30年 1月15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回常任委員会を開催
1月22日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第1回開催基本構想策定検討部会を開催
1月24日	第80回国民体育大会第1回公開競技・デモンストレーションスポーツ担当者会議及び第2回市町村担当者会議を開催
3月14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第2回開催基本構想策定検討部会を開催

年	月	日	内 容
	4月	1日	国体準備室員を増員（8名体制）
	5月	14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催
	5月	15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回広報・県民運動専門委員会を開催
	6月	6日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第4回常任委員会を開催
	7月	10日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総会を開催
	8月	30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会を第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会に改称
	9月	5日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回施設専門委員会を開催
	10月	18日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回競技運営専門委員会を開催
	11月	1日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回広報・県民運動専門委員会を開催
		〃	国体準備室を国民スポーツ大会準備室に改称
	11月	16日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回総務企画専門委員会を開催
	12月	21日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回常任委員会を開催
平成31年	3月	28日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回競技運営専門委員会を開催
	4月	1日	県教育委員会から業務を移管し、県企画政策部に国民スポーツ大会準備室を設置（14名体制）
令和元年	5月	23日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回総務企画専門委員会を開催

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項

第4回広報・県民運動専門委員会以降に開催した常任委員会での決定事項は、下記のとおりである。

記

1 第5回常任委員会決定事項【平成30年12月21日開催】

- ・第80回国民スポーツ大会開催基本構想
- ・第80回国民スポーツ大会正式競技追加競技種目・種別等の変更
- ・第80回国民スポーツ大会競技会場の変更
- ・第80回国民スポーツ大会会場地市町村第四次選定
- ・第80回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ会場地市町村第一次選定
- ・第80回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画改正
- ・第80回国民スポーツ大会県民運動基本方針

説明・報告事項3

第80回国民スポーツ大会会場地市町村選定状況(市町村図)

(40市町村(県外1)、正式35競技、特別1競技、公開7競技、デモンストラーションスポーツ23競技)

東青

あおもりし
青森市
(総合開・閉会式、14競技)
陸上競技、
水泳(競泳、水球、AS、OWS)、
テニス、バレーボール(6人制、
ビーチバレーボール)、
ハンドボール、ソフトテニス、
卓球、軟式野球、
ライフル射撃(OP)、
ラグビーフットボール(15人制)、
スポーツクライミング、アーチェリー、

ひらないまち
平内町(2競技)
ゴルフ
(公開)綱引

よもぎたむら
蓬田村(1競技)

いまべつまち
今別町(1競技)

そとがはままち
外ヶ浜町(1競技)
(デモスポ)ペタンク

下北

むつし
むつ市(5競技)
ボート
バスケットボール
セーリング
フェンシング
(デモスポ)フライングディスク

ひがしどおりむら
東通村(1競技)

かざまうらむら
風間浦村(1競技)

おおままち
大間町(1競技)

さいむら
佐井村(1競技)
(デモスポ)ふれあいソフトボール

西北

ごしょうがわらし
五所川原市(1競技)

つがるし
つがる市(2競技)
バレーボール
柔道

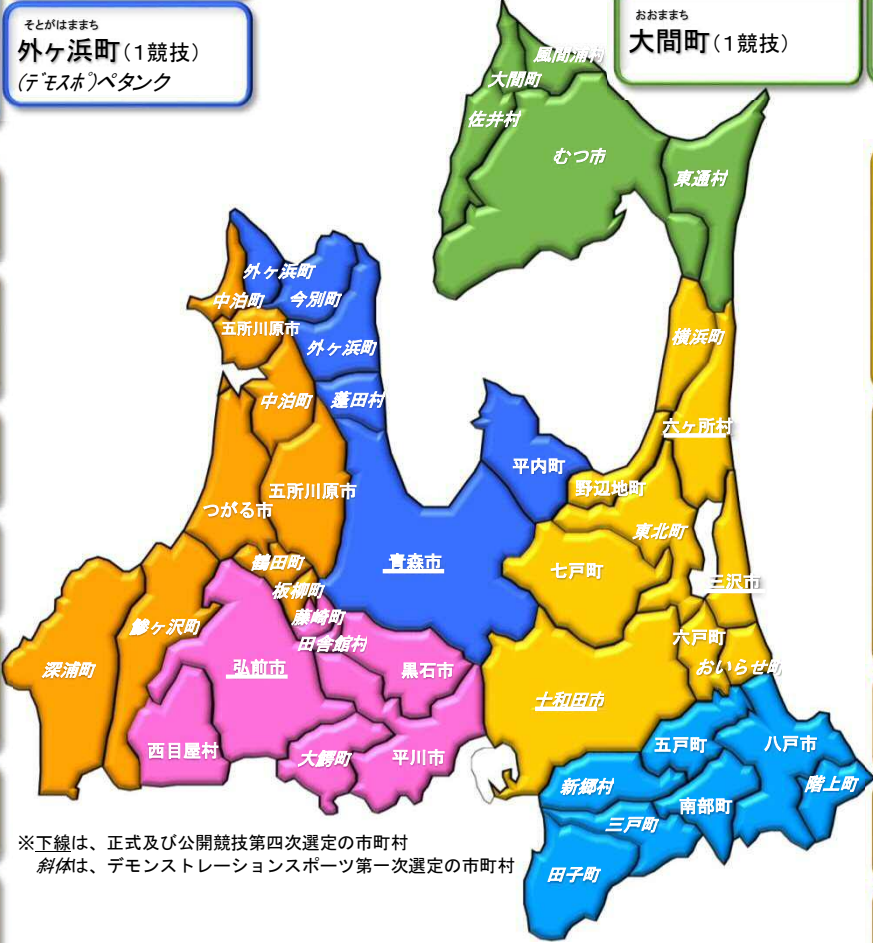
あじがさわまち
鱒ヶ沢町(1競技)

ふかうらまち
深浦町(1競技)
(デモスポ)ノルディックウォーキング

いたやなぎまち
板柳町(2競技)
(デモスポ)ふれあいゲートボール
(デモスポ)ウォーキング

つるたまち
鶴田町(1競技)
(デモスポ)マラソン&ウォーキング

なかどまりまち
中泊町(1競技)
(デモスポ)ビーチサッカー



※下線は、正式及び公開競技第四次選定の市町村
斜体は、デモンストラーションスポーツ第一次選定の市町村

上北

とわだし
十和田市(6競技)
サッカー
バスケットボール
相撲
(公開)バウンドテニス
(公開)ゲートボール
(デモスポ)パークゴルフ

みさわし
三沢市(7競技)
ホッケー
バスケットボール
ソフトボール
軟式野球
銃剣道
ボウリング

のへじまち
野辺地町(1競技)

しちのへまち
七戸町(1競技)

よこはままち
横浜町(1競技)

ろくのへまち
六戸町(1競技)

とうほくまち
東北町(2競技)
ソフトボール

おいらせちょう
おいらせ町(4競技)
軟式野球
(デモスポ)フィン・ホール
(デモスポ)スポーツチャンバラ

ろっかしょむら
六ヶ所村(2競技)
ホッケー
軟式野球

中南

ひろさきし
弘前市(6競技)
体操(競技、新体操、トランポリン)
ソフトボール
弓道(近的、遠的)
空手道
クレー射撃(トラップ、スキート)

ふじさきまち
藤崎町(3競技)
なぎなた
(公開)パワーリフティング
(デモスポ)スポーツ吹矢

おおわにまち
大鰐町(2競技)
(デモスポ)オリエンテーリング
(デモスポ)ハイクライディング

くろいしし
黒石市(1競技)

にしめやむら
西目屋村(1競技)

ひらかわし
平川市(3競技)
ウエイトリフティング
(公開)グラウンド・ゴルフ
(公開)エアロビク

いなかだてむら
田舎館村(1競技)

三八

はちのへし
八戸市(7競技)
サッカー
バスケットボール
レスリング
自転車(トラックレース)
ソフトボール
ラグビーフットボール(7人制)

たっこまち
田子町(1競技)
(デモスポ)マラソン

なんぶちょう
南部町(1競技)
サッカー

さんのへまち
三戸町(1競技)

はしかみちょう
階上町(2競技)
自転車(ロードレース)
(デモスポ)フロアボール

このへまち
五戸町(1競技)
サッカー

しんごうむら
新郷村(1競技)

県外

みやぎけんみやぎぐんりふちょう
宮城県宮城郡利府町
水泳(飛込)

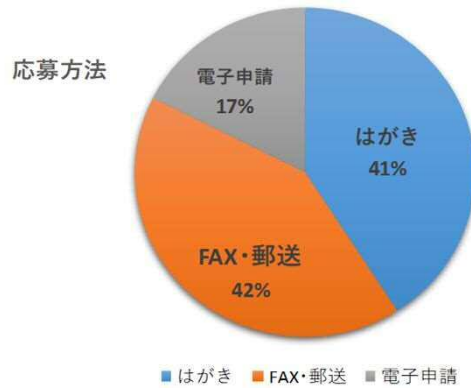
未選定競技

馬術、ライフル射撃(50m、10m・AP、BP・BR)

第80回国民スポーツ大会愛称・スローガンの応募状況

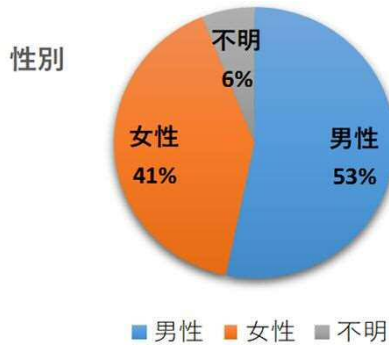
【応募方法】

区分	総応募数	割合	愛称	スローガン
1 はがき	3,085	40.9	2,968	2,925
2 FAX・郵送	3,132	41.5	2,962	2,899
3 電子申請	1,322	17.5	1,217	1,255
合計	7,539	100.0	7,147	7,079



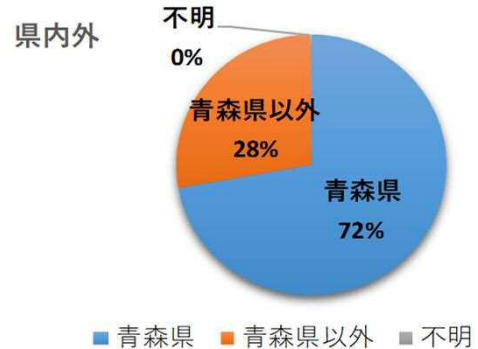
【性別】

	男性	女性	不明	合計
人数	4,017	3,065	457	7,539
割合	53.3	40.7	6.1	100



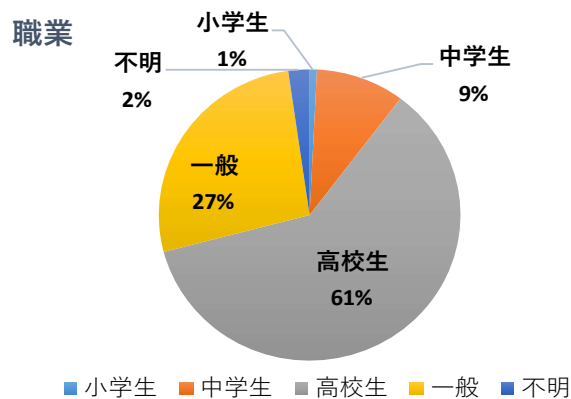
【県内外】

	青森県	青森県以外	不明	合計
人数	5,439	2,092	8	7,539
割合	72.1	27.7	0.1	100



【職業】

	小学生	中学生	高校生	一般	不明	合計
人数	59	717	4,572	2,020	171	7,539
割合	0.8	9.5	60.6	26.8	2.3	100



説明・報告事項5

平成30年度 広報活動の取組

NO	日付	広報物・広報媒体	広報内容等
1	H30.4.30～ H30.5.27	大会PRポスター掲示 (県コンビニ広報)	県が実施しているコンビニからの情報発信を活用し 大会PRポスターを掲示。 掲示場所：ファミリーマート 掲示ヶ所数：青森87ヶ所、八戸51ヶ所
2	H30.6.25～ H30.7.29	大会PRポスター掲示 (県コンビニ広報)	県が実施しているコンビニからの情報発信を活用し 大会PRポスターを掲示。 掲示場所：セブン・イレブン 掲示ヶ所数：青森県内75ヶ所
3	H30.6	横断幕作成・配付	2025年青森国体開催PR横断幕の作成・配付。 作成枚数：50枚 配付先：中体連・高体連事務局、県体協、各種競 技団体等
4	H30.7.1～ 7.15	『JOMON』とのコラボ缶バッジ	あおりJOMONフェスタの来場者に対して配布 配布数：230個 会 場：おいらせ会場、青森会場、外ヶ浜会場
5	H30.7.7～ H30.7.8	『青森県民スポーツ・レクリエー ション祭』とのコラボ缶バッジ	スポレク祭の競技選手、競技役員、来場者等へ配 布。 配布数：5,800個
6	H30.7.28～ 7.29	『さんまる』とのコラボ缶バッジ	縄文時遊館のイベント「三内丸山縄文夏祭り」の来 場者に対して配布 配布数：1,000個
7	H30.7～ H30.10	『マモルさん』とのコラボ缶バッジ	がん・生活習慣病対策課の協力を得て市町村健康ま つりや健康教室の参加者に対して配布 配布数：1,500個
8	H30.7～ H31.1	スポーツタオル作成・配付	2025年青森国体開催PRスポーツタオルの作 成・配付。 作成枚数：500枚 配付先：中体連全国大会出場選手及び監督等
9	H30.8	『とよび』とのコラボ缶バッジ	青森トヨベットの公式キャラクター「とよび」との コラボ缶バッジを1,000個作成し配布
10	H30.9	『a o m o』とのコラボ缶バッジ	青森銀行のキャラクター「a o m o」とのコラボ缶 バッジを2,500個作成し職員が着用。
11	H30.10	「アップリート君」着ぐるみ制作	2025年青森国スポ仕様「アップリート君」着ぐ るみを制作。
12	H30.11	愛称・スローガン募集 チラシ配付	2025年青森国スポ愛称・スローガン募集チラシ の配付。 配付先：県内小・中・高・特別支援学校、大学、 県内市町村・県官公庁、商工団体等

13	H30.12.16	愛称・スローガン募集 県新聞広報「広報あおもりけん」	県が毎月2回（1日・16日）掲載している新聞広報を活用し、「東奥日報」「デーリー東北」「陸奥新報」へ募集記事を掲載。
14	H30.12	愛称・スローガン募集 県教育広報「あおもりけん vol.51」	県教育委員会が発行している「教育広報あおもりけん（12月発行）」を活用し、募集記事を掲載。
15	H30.12.24～ H31.1.27	愛称・スローガン募集 チラシ設置（県コンビニ広報）	県が実施しているコンビニからの情報発信を活用し募集チラシを設置。 掲示場所：セブン・イレブン 掲示ヶ所数：青森県内75ヶ所
16	H30.12～ H31.1	愛称・スローガン募集 （県広報・教育庁広報除く）	○チラシ設置・配布 ・青森銀行県内各支店 ・みちのく銀行県内各支店 ・青森市スポーツ振興課（アウガ3階） ・中小企業団体中央会会員 ・県庁舎受付（正面・北棟・議会） ・県内全高等学校全生徒（2回目） ○新聞・広報誌等 ・東奥日報（H30.11.23掲載） ・読売新聞（H30.12.5掲載） ・階上町「広報はしかみ1月号」 ・タウン情報誌「ふい～らあ」12・1号 ・コンテスト情報誌「公募ガイド」2月号 ○ラジオ ・NHKラジオ第1・お知らせ ○インターネット関係 ・県庁ホームページ「注目情報」 ・コンテスト情報サイト「公募ガイドONLINE」 ・コンテスト情報サイト「登竜門」
17	H31.2.9～ H31.2.10	『さんまる』とのコラボ缶バッジ	縄文時遊館のイベント「三内丸山縄文冬祭り」の来場者に対して1,000個配布
18	H31.2	ボールペン作成・配付	2025年青森国スポ開催PRボールペンを作成・配付。 作成本数：1,500本 配付先：窓口業務がある官公庁及びスポーツ施設
19	H31.2	ネックストラップ作成・配付	2025年青森国スポ開催PRネックストラップを作成・配付。 作成本数：600個 配付先：市町村担当課・県東京事務所及びスポーツ施設等
20	H31.2	バックボード製作	2025年青森国スポ開催PR記者会見用バックボードの製作

第80回国民スポーツ大会イメージソングの制作に関する意見等

意見等	事務局回答
<ul style="list-style-type: none"> 事務局が指摘する通り、作曲も公募にすると専門性が増し、広い県民参加と手作り感を創出する方法に反することから歌詞のみの公募に賛成。 一定期間使用するため、曲調については、適宜、編曲等ができるよう自由度を残す方法があった方が良いと思う。 	<p>2025年の大会開催まで様々な機会において活用して行くこととなるため、専門家等へ編曲を依頼するなど対応していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> リズムカルで躍動感あふれる曲で良いと思う。 明日に向かって頑張れる曲だと感じた。自然と笑みがこぼれそうになる曲の様に聞こえる。 県民に絞る訳ではないが、県民の案が採用され易い形でとても良いと思う。 ある程度の応募作品が集まるよう、中・高校の音楽の時間や吹奏楽部の生徒さんなど学校で取り組んでもらってはどうか。 歌詞だけの募集の方が広く県民の参加を得られると思う。 明るい感じの曲調で好感が持てた。 幅広い年代から歌詞を募集するのであれば、わかりやすく親しみやすいメロディーだと考えやすいと思うが、応募が限定されそうだと感じた。 歌詞だけの募集の方が曲と詞の両方募るよりも、広い世代の方が応募しやすいと思いで賛成。 所属団体に働きかけ、大いに盛り上げていきたい。 	<p>募集にあたっては、様々な広報媒体を活用しつつ、学校や関係団体にも働きかけを行うなど多くの県民から応募が募るよう周知に努めていく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 経費をかけずにキャンペーン曲を準備しようという事務局の配慮には敬意を表したいが、候補曲は平凡で、歌詞募集を行っても応募数が少ないのではないか。 候補曲のメロディーは、青森の風土を感じさせず、開閉会式で全国のアスリートに青森の魅力をPRする絶好の機会を生かしていない。 代案として、青森県の民謡や祭の音楽のメドレーをイメージソングにしてはどうか。 決め方としては、第1段階はメドレーの楽譜を公募。条件は、津軽2曲・南部2曲を使用することとし、事務局で候補を絞り込み、小中学校で投票。第2段階は、間奏の新たな掛け声（歌詞）を公募し、事務局で候補を絞り込み、小中学校で投票する。 	<p>イメージソングの活用として、学校行事やスポーツイベントなど様々な場面で活用できるよう、ダンスバージョン、吹奏楽バージョン、合唱バージョン、BGMバージョン等の制作を検討している。</p> <p>青森県の民謡や祭りなど本県の風土を感じさせるため、提案いただいたように間奏の掛け声や編曲などで青森らしさを演出できるようアレンジしていきたい。</p> <p>先催の総合開会式では、イメージソングの活用を含め地域の特色を活かした様々な演出をしていることから、本県においても青森の魅力をPRできるような演出を検討していく。</p> <p>公募の際、2曲、津軽と南部など応募条件がつくと一般からの応募が難しくなると考えられる。出来るだけ多くの県民に参加してもらおうという点を重視し募集を進めていきたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> イメージソング自体に不平・不満はないが、決定するのが早すぎないかという点が気になった。 イメージソングなので、そんなに流行に左右されるものではないのかもしれないが、2025年大会の楽曲を、来年にもう決めてしまっても大丈夫か、はやり廃りが気になる。この部分が問題ないというのであれば、特に異を唱える部分はない。 	<p>2019年度は歌詞の募集・決定まで行い、開催内定となる2020年度に歌唱者の選定・レコーディング・イメージソングの発表。その後、ダンスの制作、ダンス普及など段階的に進めていくことにより、イメージソングやダンスを活用した普及啓発を図っていく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 軽快で良い曲だと思う。 短いバージョンもあれば活用する場面も増えるのではないか。 楽曲については、心地よいテンポで県民広く受け入れられるものであると考える。 子供から高齢者の方々が親しみやすいスポーツがしたくなるような歌詞を期待する。 経費や県民参加を考慮すると事務局案は妥当と考える。 曲は参加者が集う熱気、躍動感が感じられ、好感が持て、大人から子供まで幅広く受け入れられると思う。 	<p>今後、ダンスバージョン、吹奏楽バージョン、合唱バージョン、BGMバージョン等を制作し、様々な場面で活用しやすいようアレンジしていく。</p> <p>県民に親しまれ、広く活用できるような作品となるよう工夫していく。</p>

第80回国民スポーツ大会イメージソング歌詞募集要項（案）

1 趣旨

2025年に、第80回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）が、愛称「〇〇〇国スポ」、スローガン「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」のもと、青森県で開催されます。

「〇〇〇国スポ」の県内外への周知を図り、参加・協力につなげていくとともに、県民や来県される皆様が楽しみ、親しみを感じていただけるものとするため、イメージソングを制定することとし、第80回国民スポーツ会青森県準備委員会事務局（以下「事務局」という。）が作成した曲（メロディ）に沿った歌詞を募集します。

2 募集内容

(1) 歌詞は、事務局が作成した曲（メロディ）に沿ったものとし、大会愛称「〇〇〇国スポ」及び大会スローガン「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」をイメージできるものとする。

(2) 青森県の魅力が発信されるとともに、幅広い年齢層にわかりやすく、覚えやすい歌詞で、国スポに向け心が一つになれる作品とする。

※参考として、歌詞の構成例を青森県ホームページに掲載します。

3 曲（メロディ）の入手方法

事務局が作成した曲（メロディ）については青森県ホームページに掲載します。

また、「12」に記載の応募・問い合わせ先へ連絡いただければ曲（メロディ）を録音したCD-Rを郵送します。

4 募集期間

令和元年7月10日（水）～9月19日（木） 当日消印有効

5 応募資格

アマチュアの方に限ります。（グループでの応募も可能です。）

※本募集要項における「アマチュア」は、一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）など、著作権管理事業者に著作権管理を委託していない方です。

6 採用作品等（入賞作品）

最優秀賞（採用作品）1点 賞金15万円、優秀賞3点 賞金3万円

※入賞作品の応募者が中学生以下の場合は、賞金相当額の図書カード

7 イメージソング活用予定例

(1) 国スポの総合開・閉会式や各競技会場、各種PRイベントなどでの演奏や歌唱

(2) 地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室、国スポの総合開・閉会式及び競技会場等のBGMとして使用

(3) 合唱や吹奏楽用に編曲した楽譜を県内学校等に配布

(4) イメージソングに合わせたダンスを制作し、学校の運動会等の行事で使用してもらうほか、ダンスコンテストなどを実施

(5) その他、国スポの広報活動に広く使用

8 応募方法

(1) 次のア及びイを「12」に記載の応募・問い合わせ先まで送付または持参してください。

※持参の場合の受付は閉庁日（土・日・祝日）を除く 8 時 30 分～17 時 15 分の間
ア 応募作品のタイトル（題名）・応募者氏名及び歌詞
（A4 版タテの用紙にヨコ書とし、漢字等にはふりがなを付けること。）

イ 応募票（応募作品ごとに 1 枚）

- (2) 応募作品（歌詞）は応募者本人（または応募グループ）のオリジナルの未発表の作品で、他のコンテスト等に応募したり、各種媒体に使用していないもの。
- (3) 一人何点でも応募できます。ただし、それぞれ異なる作品に限ります。
- (4) 作品提出にかかる費用は、すべて応募者の負担になります。

9 審査及び決定

第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会において審査し、入賞作品を決定します。

10 発表及び表彰

入賞者は、直接本人に連絡するほか、報道機関などに発表します。

なお、発表は 2020 年 1 月頃を予定しています。また、表彰については、別途入賞者に通知します。

11 その他の留意事項

- (1) 採用作品の歌唱者については、別途、主催者において決定します。
- (2) 採用作品の著作者は、著作人格権（著作権法第 18 条第 1 項、第 19 条第 1 項および第 20 条第 1 項に規定する権利）を行使しないものとします。
- (3) 採用作品の著作権（著作権法第 21 条から第 28 条までに規定する権利）その他一切の権利は、第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会に帰属します。
- (4) 採用作品は補作することがあります。また、用途に応じて編曲することがあります。
- (5) 応募作品について著作権等に関わる問題が生じた場合は、全て応募者の責任となります。
- (6) 本要項の規定に反する作品は、審査の対象となりません。また、後日違反が判明した場合は、採用を取り消します。
- (7) 採用作品以外の著作権は著作者に帰属しますが、審査の過程で全ての応募作品を複製することがあります。
- (8) 応募作品は返却しません。
- (9) 本募集において、第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会が応募者から取得した個人情報については、本事業実施に関わる事務以外には使用しません。
ただし、採用作品の応募者（グループの場合はメンバー）の氏名、年齢、職業（学校名）等は本人合意の上、公表させていただきます。
- (10) 応募の時点で、この募集要項の記載事項に同意したものとします。

12 応募・問い合わせ先

〒030-8570 青森県青森市長島一丁目 1 番 1 号

（青森県企画政策部国民スポーツ大会準備室内）

第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会事務局

イメージソング歌詞募集係

Tel : 017-734-9703

Fax : 017-734-8032

ホームページアドレス

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kikaku/kokuspo/2025_80th_kokuspo.html

※持参の場合の受付は閉庁日（土・日・祝日）を除く 8 時 30 分～17 時 15 分の間

イメージソングに関するスケジュールについて

年 月		内 容
令和元年 (2019年)	5月中旬	広報・県民運動専門委員会により、募集要項(案)、審査要領(案)を審議・決定 ※歌唱者についても、「イメージソング応募票」にアンケート欄を設け記入してもらう。(自薦・他薦問わず)
	7月～9月	募集
	10月下旬	事務局が10作品程度に選定し、「入賞候補作品一覧表」を作成
	11月中旬	専門委員会による第一次選定(書面審査) 第一次選定を取りまとめ、事務局が「採用候補作品一覧表(4作品)」を作成
	12月	第6回広報・県民運動専門委員会で最優秀(採用)作品候補1作品、優秀作品候補3作品を選定
令和2年 (2020年)	1月頃	第7回常任委員会において入賞者を決定
	～3月	入賞者の表彰
	4月～7月	編曲および歌唱者の選定、レコーディング
	(開催内定)	イメージソング発表
令和3年 (2021年)		ダンス制作
令和4年 (2022年)	(開催決定)	ダンス披露、普及開始

第 80 回国民スポーツ大会イメージソング歌詞審査要領（案）

1 趣旨

この要領は、〇〇〇国スポのイメージソング歌詞の入賞作品を選定するために必要な事項を定める。

2 審査基準

審査に当たっては、次の事項を勘案して選定するものとする。

- (1) 第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会事務局（以下「事務局」という。）が作成した曲（メロディ）に沿ったもの
- (2) 第 80 回国民スポーツ大会の愛称・スローガンと調和しているもの
- (3) 子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が覚えやすいもの
- (4) 青森県の魅力を発信でき、印象に残るもの

3 審査方法

審査は、広報・県民運動専門委員会（以下「専門委員会」という。）及び事務局により以下のとおり行う。

(1) 応募作品の選定

事務局がすべての応募作品の中から募集要項及び審査要領を満たす 10 作品程度の「入賞候補作品一覧表」を作成する。

(2) 第一次選定（書面審査）

- ① 専門委員会委員は、「入賞候補作品一覧表」の中から、イメージソングにふさわしいと思われる作品 4 作品を選定し、事務局に報告する。
- ② 事務局は、①で選定された作品をまとめた「採用候補作品一覧表」を作成する。

(3) 採用候補作品の選定

専門委員会を開催し、事務局から報告を受けた「採用候補作品一覧表」について協議し、最終的に最優秀（採用）作品候補 1 作品と優秀（予備）作品候補 3 作品を選定する。

なお、必要に応じて専門委員による補作を行う。

4 決定

常任委員会において、優秀（採用）作品候補 1 作品と優秀（予備）作品候補 3 作品について審議し、入賞作品を決定する。

第 80 回国民スポーツ大会県民運動基本計画（案）

第 80 回国民スポーツ大会県民運動基本方針に基づき、次の具体的取組により、開催に向けた全県的な県民運動を推進する。

1 具体的取組

(1) すべての県民が、大会イベントやボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる。

- ・ 総合開・閉会式の運営や出演、炬火イベント等への参加
- ・ 各競技会場での観戦や本県及び県外選手の応援
- ・ ボランティア活動への参加
- ・ 国スポ募金や企業協賛による協力

(2) すべての県民が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など様々な関わりを通じて、生涯にわたりスポーツ活動に親しむ。

- ・ デモンストレーションスポーツへの参加
- ・ 地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室への参加
- ・ ライフステージに応じたスポーツ活動の実践
- ・ プロスポーツや各種スポーツ大会等の観戦や応援
- ・ 地域のスポーツ活動の応援

(3) すべての県民が、来県者を熱いおもてなしの心で迎える。

- ・ 笑顔で元気なあいさつ、親切・丁寧な対応
- ・ きれいな街づくりによる来県者の歓迎
- ・ のぼりや案内看板などによる来県者の歓迎
- ・ 郷土料理やご当地グルメ、特産品でのおもてなし

(4) すべての県民が、来県者との交流を通じて、青森県の多彩な魅力を発信する。

- ・ 豊かな自然や歴史、文化、食など、青森の多彩な魅力の紹介
- ・ 地産地消の推進や青森の郷土料理、ご当地グルメ、特産品の紹介
- ・ 地域ブランドの積極的な P R

県民運動推進スケジュール

年 度	事 業 内 容
平成30年度 (2018 年度)	県民運動基本方針の策定
令和元年度 (2019 年度)	県民運動基本計画の策定
令和2年度 (2020 年度)	[開催内定] 県民運動アクションプログラムの策定
令和3年度 (2021 年度)	各種県民運動の実践活動の開始
令和4年度 (2022 年度)	[開催決定] 国スポ募金・企業協賛の開始
令和5年度 (2023 年度)	大会運営ボランティアの募集開始
令和6年度 (2024 年度)	大会運営ボランティアの研修会 リハーサル大会での実践活動
令和7年度 (2025 年度)	[開催年] 本大会での実践活動

県民運動基本方針・基本本計画に基づく推進

第80回国民スポーツ大会県民運動基本方針

1 目的

第80回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）の県民運動は、県民一人ひとりが様々な形で大会へ参加、協力し、理解を深めることにより、スポーツに関わる楽しさと、感動を分かち合うとともに、来県者を熱いおもてなしの心で迎える大会の実現を目指して展開する。

また、大会の開催を契機に、県民が年間を通してスポーツに親しみ、スポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりの取り組みを県全体に広めるとともに、本県の魅力発信や活力あふれる地域づくりに寄与することを目的とする。

2 基本目標

- (1) すべての県民が、大会イベントやボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる。
- (2) すべての県民が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など様々な関わりを通じて、生涯にわたりスポーツ活動に親しむ。
- (3) すべての県民が、来県者を熱いおもてなしの心で迎える。
- (4) すべての県民が、来県者との交流を通じて、青森県の多彩な魅力を発信する。

3 運動の進め方

- (1) 県民運動は、県民一人ひとりの様々な活動への自発的、積極的な参加を基本として推進する。
- (2) 県準備（実行）委員会は、県民運動の全県的な推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、市町村や各種団体等と連携を図り、全県的な運動を展開する。
- (3) 市町村準備（実行）委員会は、県民運動の普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力して、地域の特性に応じた活動を推進する。
- (4) 関係機関・団体、学校、企業、NPO、ボランティア団体等は、県や市町村と連携を図りながら、それぞれの特色を活かした活動を積極的に行う。